

「資源増大に役立てて」

神奈川トヨタ
商事 県栽培協に寄付

【三崎】プレジャーーボ

ート販売などを行うKT

グループの神奈川トヨタ

商事の黒田圭次郎社長は
4日、三浦市三崎町城ヶ

島の神奈川県栽培漁業協
会を訪れ、資源増大に役

立ててほしいと10万円を
寄付した。また、Kアグ

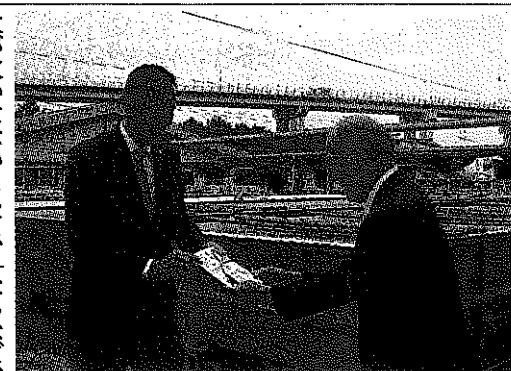
ループの上野建彦社長
は、個人として5万円を
寄付した。

同協会の今井利為事務
に寄付金を贈呈したあ
と、黒田社長はマダイ種
苗飼育施設を冒頭。稚魚
に餌を与える「種田の年間
の生産量は」「放流までの
飼育期間は」と質問。今
井事務は「年間60万尾を
生産し、約3か月半で放

流する」と答え、アワビ
やサザエといった種田の
生産にも取り組んでいる
ことを説明するなど、黒
田社長は県の資源増殖事
業に認識を深めていた。

同社はフィッシング・
イベントを開催する機会
が増えており、そのため
には水産資源の維持・増

大が欠かせないとして、
地元で種田生産・放流・
業発展を支援している。



野社長は早く
から個人とし
て賛助会員に
て賛助会員に
なるなど、県下の栽培漁

産施設の前で
黒田社長(左)が
今井事務に寄
付金を贈呈